

平成 23 年度 【第 3 回】木更津市健康づくり推進協議会 議事録	
開催日時：平成 24 年 2 月 16 日（木）13:30～	会場：本庁 6 階 会議室
出席者 健康づくり推進協議会委員（13 名） 欠席者 君津児童相談所 本多委員 木更津市体育協会 鈴木委員 木更津市社会福祉協議会 鳥飼委員 木更津商工会議所 石井委員 木更津市老人クラブ連合会 浅井委員 事務局 堀切課長 茅木副課長 地曳主査 榎本主査 草苺主査 記録者 草苺	
事務局（茅木）	<p>それでは、定刻となりましたので、ただ今から平成 23 年度第 3 回木更津市健康づくり推進協議会を開催いたします。</p> <p>私は、本日の進行役を務めます健康推進課の茅木でございます。よろしくお願い申し上げます。</p> <p>会議に入ります前に、皆様のお手元の資料の確認をさせていただきます。会議資料は、「会議次第」と「第 2 次健康きさらづ 21」および「委員名簿」「自殺予防のリーフレット」でございます。不備がございましたらお申し出ください。</p> <p>本日の会議は、委員 18 人中 13 人の出席をいただきました。</p> <p>木更津市健康づくり推進協議会要綱第 6 条第 2 項の規定により、委員の過半数の出席がありましたので、本協議会は成立いたしました。</p> <p>同要綱第 6 条の規定により会長が議長となることと規定されておりますので、本協議会の会長であります君津木更津医師会第一部会長の 重城会長に議長をお願いいたします。</p> <p>それでは、重城会長よろしくをお願いいたします。</p>
重城会長	<p>それでは、規定によりまして議長を務めさせていただきます。ご協力よろしくをお願いいたします。</p> <p>まず始めに、議題の「第 2 次健康きさらづ 21 の承認について」ですが、承認をしていただく前に、11 月 24 日に開催されました第 2 回健康づくり推進協議会で提案された計画素案から変更点があるようですので、事務局から変更点について説明をお願いします。</p>
事務局（草苺）	<p>はじめに報告となりますが、昨年 12 月 20 日から平成 24 年 1 月 18 日の間で実施しましたパブリックコメントでは、市民からの意見はありませんでした。</p>

計画書の承認をいただく前に前回の第2回健康づくり推進協議会で提案しました計画素案と、先日お手元に配付しました計画書の変更点について説明させていただきます。

計画素案と今回の計画書では、構成等での大きな変更はありません。

前回との違いとしましては、計画書の最後に付属資料がついています。

また、後ほど説明しますが、先日2月9日に開催されました健康きさらづ21推進委員会で、表紙に「元気はつらつ、きさらづ育ち、タヌキっこ」と記載してありますが、計画書の内容を読みすすめていくうちに「タヌキっこ」がキャッチフレーズの頭文字であることがわかることから、できれば、計画書の前段階でキャッチフレーズの内容がわかるようにしたほうが良いという指摘を受けました。

そのため、成果品となりますと表紙・裏表紙であればカラーでの掲載が可能になりますので、裏表紙にキャッチフレーズを記載することにしました。

細かな変更点としましては、

まず2章の13頁の(1)人口の動態ですが、木更津市の常住人口が13万人を超えたことから、各年1月1日現在のデータでグラフを差し替えました。

続きまして、16頁の壮年期死亡の現状についてですが、素案段階では、壮年期死亡の人数と死因分類を記載していました。

しかしながら、死亡分類は同様の表が他にもあることから、ここでは削除し、男性と女性の死亡比較までとして表にしました。

第2章のグラフや表については、できるだけ見やすく、わかりやすくなるように若干の修正を加えています。

つづいて、第3章 健康づくりの目標ですが、39頁の数値目標に壮年期死亡の減少を加えました。平成22年度の本市の死亡者に占める壮年期死亡者の割合が11.7%であったことから10%以下を目標として設定しました。

40頁のライフステージの設定では、各ライフステージに注釈とイラストを付け加えました。

43頁のキャッチフレーズで、素案段階では、「梨・お米・海苔にアサリ木産木消」としました。木更津産の産物の消費を強調させるために「木産木消」としましたが、農林水産課の木更津市農業振興総合計画との整合性をはかり、一般的な地産地消で表記を修正します。

第4章の取り組みの展開ですが、49頁、52頁、67頁のように、児童期におけるおやつの意義やアクティブチャイルド60分、食事バランスガイドなど、付属資料の用語解説まで読み進まずとも、内容が読み込めるように計画書本文の中で解説をしてあるものもあります。

51頁の児童期の数値目標である「朝食を欠食している児童の減少」の項目

が調査中でしたので、その項目に現状と数値目標が入りました。

また、11月の健康づくり推進協議会でも説明しましたとおり、素案の説明段階では児童期、思春期の取り組み内容は学校分野と協議中でした。

学校栄養士、養護教諭とすり合わせた結果、62頁の食育の推進の児童期から思春期の一人ひとりの取り組み内容で、素案段階では「主食・主菜・副菜を取り揃えた食事をよく噛んで食べましょう」という表記を、「栄養バランスを考えた食事を一口30回良く噛んで食べましょう」という表記へ変更します。

5章の計画の推進ですが、冒頭でも説明しましたとおり先週2月9日に健康きさらづ21推進委員会の設置が承認されました。

77頁の健康きさらづ21を推進するにあたっての組織をご覧ください。健康きさらづ21を推進するための組織として「健康きさらづ21推進委員会」と、4つの「推進部会」、そしてこの「健康づくり推進協議会」の3つがあります。

健康きさらづ21推進委員会は、健康づくり推進協議会の幹事課が構成員となっており、4つの部会で調査検討された事項について、報告を受け、助言をしていきます。

部会からの進捗状況報告を受け、健康きさらづ21推進委員会は、この健康づくり推進協議会委員会に進捗状況の報告をしていく形をとります。

推進委員会の設置要綱は、付属資料の中で84頁に記載してあります。推進委員会の下部組織として4つの部会については、まだ具体的な動き方については決まっていますが、それぞれの方向性として、

「こどもの健康づくり推進部会」は、学校保健、学校栄養士と連携して、主にこどもの生活習慣病予防対策について、連携方策を検討しながら、計画にそった事業展開を検討していきます。

次の「働きざかりの健康づくり推進部会」は、今回の2次計画の策定にあたり、健康寿命の延伸、生活の質の向上、壮年期死亡の減少を目指すためには若い世代からの健康づくりが重要であり、若い世代は、働き盛り世代であることから職域保健との連携が課題としてあがりました。

職域保健との連携といいましても、現段階では、手をつけていないところですので、当初は市内の中小企業などの健康管理体制についての調査などから着手していくこととなろうかと思えます。

3つめの「こころの健康づくり推進部会」は、自殺対策庁内推進会議の関係各課を母体に、自殺予防対策の視点をもった心の健康づくり対策について検討していきます。

最後に、「食育推進部会」は、庁内食育連絡会の関係各課を母体にし、農林

	<p>水産課など経済部門と保育園や学校の給食、地域保健と連携をはかりながら食育を推進していきます。</p> <p>それぞれの部会の構成課は、84 頁に記載をしてありますとおり、市の関係課が主体となっていますが、将来的には、市の関係課以外の外部の方の意見も聞けるような部会にしていきたいとも考えています。</p> <p>76 頁の部会の表記ですが、計画素案段階では、各部会の名称が仮称表記となっていました。健康きさらづ 21 推進委員会で部会の設置の承認が得られましたので、仮称をとり、健康きさらづ 21 推進委員会の下部組織として位置づけました。</p> <p>以上が、計画書の変更点等となります。</p>
重城会長	<p>事務局の説明が終わりました。ご意見等がありましたらお願いします。</p>
田中委員	<p>部会の開催回数などは決まっていますか。</p>
事務局(草苺)	<p>具体的には決まっていますが、年 1 から 2 回程度を予定しています。</p>
白石委員	<p>67 頁の食育の数値目標に関して、学校給食における地場産物の使用割合の目標は「増加」となっていますが、具体的ではないと思います。</p>
事務局(草苺)	<p>たしかにそのとおりだと思いますので、学校給食センターを相談し、具体的な数値目標を入れるようにします。</p>
重城会長	<p>他に意見はありませんか。</p> <p>意見がないようですので、計画書の承認をさせていただきます。</p> <p>ただいまの「第 2 次健康きさらづ 21」について承認される方、挙手をお願いします。</p> <p>(挙手多数で、承認されました)</p> <p>ありがとうございました。それでは、以上をもちまして第 3 回健康づくり推進協議会を終了させていただきます。</p>
事務局(茅木)	<p>重城会長ありがとうございました。</p> <p>今後のスケジュールとしましては、承認いただいた計画書を市長から決定します。</p> <p>決定された計画書を 3 月の議会の全員協議会で報告します。</p> <p>また、次年度には計画書の概要版を作成する予定です。概要版には、たぬ</p>

き達が活躍してくれると思います。小中学生を通じて保護者へ見てもらえるようにします。

本日、自殺予防の相談窓口リーフレットを1部お手元にお配りしましたが、リーフレットにまだ余裕がありますので、活用したい団体がいましたら申し出てください。